



訂正	月	日

1. 躯体壁芯は、特記なき限り壁厚の中央とする。
2. 軽鉄間仕切りの壁芯は、特記なき限り軽鉄下地の中央とする。壁種別は平面図による。
3. 屋内の床レベルは特記なき場合FL±0とする。
4. 外部コンクリートの増厚部は、特記なき限り20mmとする。
5. 外部に面する躯体壁内側には特記なき場合、断熱材Cを見込む。
6. 鉄骨柱・梁は特記なき場合、断熱材Bを見込む。

- F-1 内部仕上詳細番号を示す。(部分詳細図(9))
- LGS-F 軽量鉄骨耐火間仕切壁を示す。[D-401]スラブ下まで
- LGS-F-F 軽量鉄骨耐火間仕切壁(片面)を示す。[D-402]スラブ下まで
- LGS-F 軽量鉄骨間仕切壁(片面)を示す。(LGS65型+GB-R t=12.5+12.5)
- LGS-F 特記なき間仕切壁は軽量鉄骨間仕切壁を示す。(LGS65型+GB-R t=12.5+12.5(両面))

徳岡設計
TOKUGAWA DESIGN LTD.

作成年月日
2023.09.01
発行年月日
2023.09.01
設計者
徳岡 浩二
監製
角田 丸山

工事名称
(仮称) 子ども包括支援センター建築工事
図面名称
1階平面詳細図

図面NO.
A-34
A-81

設計NO.
管理NO.

1:50 (A1)
1:100 (A3)